

マップの項目を考える

ステップ1で理解・共有した地域の災害特性をもとに、どんなマップを作るのか、どういう項目にするのかを考えます。以下に示した2つのやり方があります。

1. 目的を明確にしたマップ（1～4ページ）
2. 目的を絞らないマップ（4～8ページ）

どちらか選び、その部分の手引きをご覧ください。

1. 項目を考える

グループ作業

ステップ1で使ったマップを参照しながら、マップにのせる項目を考えましょう。項目は大きく分けると2つあります。

危険項目： その目的のために危険となる物・場所

資源項目： その目的のために役に立ちそうな人・物・場所。

項目シート

に順番に項目を書き込んでいきましょう。書き込む内容は以下のとおりです。

項目番号： 1から順番に番号をつけます。

危険、資源、その他： 項目が該当する種類に○をつけます。

点、線、面： 地図で表現する方法を選びます。消火栓などの地点のような場合は「点」、避難ルートのような道のような場合は「線」、公園のように広がりがある場合は「面」を選びます。

なぜ?： その項目を挙げたのかの理由を書きましょう。不要な場合は記入する必要はありません。

資源未確認： 「資源」に○をつけた場合に、本当に役に立つのか未確認の場合に○をつけます。

◆ 項目を検討するための参考情報

- ◆ 一般的な防災資源としては、「その他参考資料」にある「地域の防災資源の例」と「災害時に役立つ地域資源の例」が参考になります。
- ◆ 参考となる情報としては、e 防災マップコンテストにて各地で作成された e 防災マップが参考になります。グループページには、「全国各地の e 防災マップ」へのリンクがありますので、そちらからご覧ください。
- ◆ リスク研究グループ広報誌「リスク情報と地域防災」では、コンテストの受賞マップの紹介があります。グループページに広報誌へのリンクがありますので、こちらもあわせてご覧ください。

項目シート

枚目

番号	項目 (人・物・場所)	危険	資源	その他	点 線 面	なぜ？	資源 未確認
0	例) 民生委員		○		○ 点 線 面	要援護者の場所を知っている はずだから。	○
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		
					点 線 面		